

# ドコを見て釣るの？地形を見なきゃ！！

## ー初めての釣り場のポイント選びー

大阪アングラーズ 本多 茂

### STEP1 大規模チェック

今は情報氾濫の時代である。釣りの情報も例外ではない。しかし、有名なポイントは確かにポイント図や釣行記などで紹介されているのだが、知らない土地や釣りの盛んでない土地で初めての釣り場であればどうだろうか。まったく情報もなく、ポイント図もない。そんなときの釣り場選びのコツを。

まず、私は手に入れば25000/1の国土地理院の発行の地図（定価270円）を手に入れることにしている。最近インターネット上の試験公開ということで「ウォッチーズ」(<http://watchizu.gsi.go.jp/index.aspx>)でも無料でみることができる。この地図は日本全国が手に入る最大縮尺である。1万分1の地図もあるが限定された地域である。まず見るのは港の位置。基本的に漁港であれ、一般港湾であれ港が出来る場所というのは、水深もあって比較的波穏やかな場所に来るのである。したがって、釣りの世界では一番魚が寄る場所であると考えられる。ちょっと安易だが、この程度なら道路地図帳でも探せるはずである。

新しい場所を開拓したいという向きには地図をどういう視点で見ればよいだろうか。

- ① 海岸まで他の場所より等高線が詰まっている。
- ② 川が流れ込んでいる。
- ③ 沖に島があり水道になっている。
- ④ 湾が入り組んでおり、複雑だ。

これらの条件を省みて見ると、①は等高線が詰まっているので海も急に深くなっていることが多い。②では川の流れ込みは常に複雑な海底地形を生み出す。③では潮流の流れが速いことが予測される。④ではリアス式のような海岸線では急深で、複雑な海底のことが多い。これらの条件はいずれも好ポイントの条件に当てはまるのである。



### STEP2 中規模チェック

さて、ここまでは机上の理論である。地図でいかに期待を膨らませようが、実際に現場へ行ってみると全く期待はずれということも多い。海底の地形を作るのは地形からの条件に加えて、潮の流れや風、川の流量などさらに複雑な条件が実際は付け加わる。

現地についてみると投げ釣りで行く遠投してみても浅くて釣りにならない。100%根掛りしてだめだ。ということは良くある。正直言って、地図からの判断では正解率50%ぐらいかもしれない。現地ではやはり、後ろの山の傾斜、海岸の状況、潮の流れなどを判断して実釣を始めるようにしたいものだ。最後は勘とラッキーである。

### STEP3 小規模チェック

投げてはじめてわかる状況もある。たとえば潮の流れのトルク。あまり速くないのに流されるとか、速そうなのに流されないなど。これは海底と表層の潮の流れが違うのである。また、根掛りはないはずなのにと、予想に反して海底の変化が全くないなど予想と現実の差はある。もちろん海底の状況が変われば釣れる魚も狙い方も変わるので、1投ぐらいはオモリのみで投げて、確認しておく必要があるかもしれない。

### STEP4 ピンポイントチェック

投げ釣りの最大の利点は複数の竿を出せることである。特に初めての釣り場では出来るだけ遠近、左右両方向に投げ分けて幅広く探ることが必要だ。カケアガリやシモリの位置、潮流の流れ、深みなど出来るだけ変化のある場所を狙って、釣れた所に集中してやるほうがよい。

### STEP5 コレを見逃していないか！？

ところで最近釣り場の空撮シリーズがたくさん出ている。実は地図を見るより、海底の地形なども想像できるので寄り確実なポイント選びが出来る。関釣りでも近畿地方の航空写真シリーズの地図は出ているの

で参考になされるといいだろう。また、地方の釣具屋に行くとその地域の航空写真の釣り場集も結構出ている。ちょっと高い（大体3～4000円）のがたまに傷だが。

## **STEP6 難所もクリア！！**

地図や航空写真で好ポイントに見えるけど、いざ行ってみると道がない。急斜面を降りたり、岩場をへずったりしていくという手もあるが、基本的には危険が伴うので私の場合は避けている。どうしてもという方は、足元をきっちりと固め万全の装備で望んでほしい。

## **STEP7 ある日の大成功**

5月の連休ぐらいだったと記憶している。知多半島の遠州灘側の海岸でのことだ。日中、何の変哲もないなだらかな海岸線の中でぽつんと円形のシモリが出ているところがあった。何気なくキス仕掛けを投げたところ、20㌔クラスのキスの入れ食い。小一時間でクーラーいっぱいになってしまった。赤羽根漁港の手前であったと思う。

これも春の珍事であった。隠岐島・島後の那久崎でのこと。地元の方にインダイがつれると教えてもらって、地図をにらみながら岬の獣道を進み、海に出たところで釣り座を構えた。しかし、釣れたのはガシラ。それもいずれも25㌔を超える良型サイズばかり。これはいかに釣り人が入っていないかの証明でもある。新規の釣り場の開拓には意外性が同居しているのである。